

6 3 6 1 - 7 7 2

平成19年10月3日

各関係機関長
各病害虫防除員 様

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

病害虫防除情報第5号

チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、チャノホソガ、カンザワハダニがやや多～多の発生となっていますので、発生状況と防除上の注意についてお知らせします。各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

1. 作物名 チャ

2. 病害虫名 チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、チャノホソガ、カンザワハダニ

3. 発生状況

1) チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ

9月中旬の巡回調査における発生状況は表1のとおりで、両害虫とも発生面積率、寄生葉率ともに平年より多い。

2) カンザワハダニ

9月中旬の巡回調査における発生状況は表1のとおりで、発生面積率、寄生葉率ともに平年よりやや多い。

3) チャノホソガ

9月中旬の巡回調査における発生状況は表1のとおりで、発生面積率は平年並みであるが、㎡あたり巻葉数は平年よりやや多い。また、都城市、田野町に設置しているフェロモントラップの成虫誘殺数は、7月以降過去5年平均より多い傾向が続いている（図1）。

表1 9月中旬の巡回調査における発生状況

	チャノミドリヒメヨコバイ		チャノキイロアザミウマ		カンザワハダニ		チャノホソガ	
	発生面積率 (%)	寄生葉率 (%)	発生面積率 (%)	寄生葉率 (%)	発生面積率 (%)	寄生葉率 (%)	発生面積率 (%)	巻葉数/㎡ (枚)
本年	64.7	6.5	52.9	5.1	47.1	6.2	47.1	3.8
平年	27.3	1.3	28.6	2.3	33.6	2.6	51.8	3.0
前年	41.2	1.9	58.8	4.9	29.4	1.2	41.2	1.6

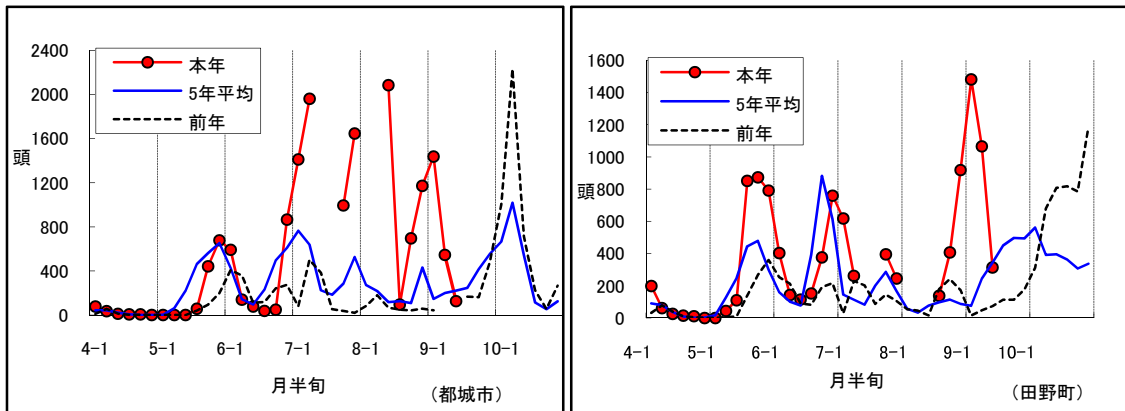


図1 フェロモントラップによるチャノホソガ誘殺数（2地点）

4. 防除上の注意

1) チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、チャノホソガ

(1) 常時若い芽葉が存在する幼木園では、秋芽生育期に上記害虫が多発する。新芽生育期に被害を受けると、側芽が多く出たり生育が抑制されたりするため、多発している園は防除を要する。

2) カンザワハダニ

(1) カンザワハダニの秋期防除は、秋整枝直後および11月中旬～下旬に重点を置いて実施し、翌春の発生密度を低下させることが重要である。

(2) カンザワハダニは、晩秋から早春にかけて樹幹内部や裾部に寄生していることが多いので、散布状況を確認し、裾部の葉裏にも十分薬剤が付着するよう適正な使用量で丁寧に散布する。

3) 薬剤抵抗性の発達を避けるため、同一系統薬剤の連用を避ける。

4) 防除薬剤等、その他の詳細については、病虫害防除・肥料検査センター、総合農業試験場茶業支場、各農業改良普及センター等に照会すること。また、農薬使用基準を遵守し危被害防止に努める。

《連絡先》

病虫害防除・肥料検査センター 邊見

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-7499

ホームページ : <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp